

倉敷市市民交流センター条例施行規則

平成 23 年 9 月 26 日

規則第 52 号

改正 平成 24 年 3 月 19 日規則第 13 号

平成 24 年 7 月 26 日規則第 69 号

平成 24 年 9 月 28 日規則第 76 号

平成 25 年 12 月 26 日規則第 87 号

平成 31 年 3 月 22 日規則第 24 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、倉敷市市民交流センター条例（平成 22 年倉敷市条例第 53 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(使用許可申請)

第 2 条 条例第 9 条第 1 項の規定により市民交流センター（以下「センター」という。）の施設及び附属設備（以下「施設等」という。）の使用許可を受けようとする者は、所定の許可申請書を市長に提出しなければならない。

(申請書の受付)

第 3 条 前条の申請書の受付は、使用日（条例第 11 条に規定する連続使用にあつては、その初日。以下この条において同じ。）の属する月の 3 箇月前の月の初日（同日が条例第 8 条に規定する休館日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い開館日。以下同じ。）からとする。ただし、次の各号に掲げる場合は、当該各号に定める日からとする。

(1) 倉敷市児島市民交流センター（以下「児島交流センター」という。）のジーンズホール、会議室（第 1 和室会議室及び第 2 和室会議室を同時使用する場合に限る。）、視聴覚室、ギャラリー及び芝生広場並びに倉敷市玉島市民交流センター（以下「玉島交流センター」という。）のホール、会議室（第 1 和室会議室、第 2 和室会議室及び第 3 和室会議室を同時使用する場合に限る。）、美術展示室及び体育室（フロアを全面使用する場合に限る。）を使用する場合（同一の行事でこれら以外の施設等を併せて使用する場合にあつては、当該施設等の使用を含む。） 使用日の属する月の 12 箇月前の月の初日

(2) 児島交流センターの多目的ホールを時間単位で使用する場合 使用日の属する月の 2 箇月前の月の初日

2 児島交流センターのいきいきふれあいルームの使用に係る申請書の受付は、使用日の2日前（その日が休館日のときは、その日前においてその日に最も近い開館日）までとする。

3 前2項の規定にかかわらず、市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前2項に定める期間外においても申請書を受け付けることができる。

（1）本市が使用するとき。

（2）前号に掲げるもののほか、公用又は公共用のため、市長が特に必要と認めるとき。

4 市長は、申請が同時になされた場合は、協議又は抽せんにより使用許可を受けようとする者を決定し、受け付けるものとする。

（使用許可）

第4条 市長は、条例第9条第1項の規定により使用を許可したときは、所定の使用許可書を交付するものとする。

（許可事項の変更）

第5条 条例第9条第1項の規定により変更の許可を受けようとする者は、所定の変更許可申請書を市長に提出しなければならない。

2 市長は、条例第9条第1項の規定により変更の許可を行ったときは、所定の変更許可書を交付するものとする。

（使用の取消し）

第6条 施設等の使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用開始前に施設等を使用しないこととなったときは、所定の使用取消届を市長に提出しなければならない。

（許可の取消し等）

第7条 条例第12条に規定する使用許可の取消し等の通知は、所定の取消し等通知書により行うものとする。ただし、緊急やむを得ない場合は、口頭によることができる。

（附属設備の使用料）

第8条 条例第14条第1項に規定する附属設備の使用料は、別表第1及び別表第2に定める金額により算定する。

（使用料の後納）

第9条 条例第14条第2項ただし書の規定により使用料を後納しようとする者は、第2条の許可申請書とともに所定の後納申請書を市長に提出しなければならない。

（使用料の還付）

第 10 条 条例第 15 条ただし書の規定により使用料の還付を受けようとする者は、所定の還付申請書を市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の申請書の提出があったときは、これを審査し、適当と認めるときは、所定の還付決定通知書を交付するものとする。

3 使用料の還付率は、次のとおりとする。

(1) 条例第 15 条第 1 号に該当する場合 100 パーセント

(2) 条例第 15 条第 2 号に該当する場合

ア 使用日の 6 箇月前までに第 6 条の使用取消届の提出があったとき 100 パーセント

イ 第 3 条第 1 項第 1 号に規定する使用にあつては、使用日の 30 日前までに第 6 条の使用取消届の提出があったとき 50 パーセント

ウ イに規定するもの以外の使用許可施設にあつては、使用日の 2 日前までに第 6 条の使用取消届の提出があったとき 50 パーセント

(3) 条例第 15 条第 3 号に該当する場合

ア 使用日の 6 箇月前までに第 5 条第 1 項の変更許可申請書の提出があったとき 変更前と変更後の使用料の差額の 100 パーセント

イ 第 3 条第 1 項第 1 号に規定する使用にあつては、使用日の 30 日前までに第 5 条第 1 項の変更許可申請書の提出があったとき 変更前と変更後の使用料の差額の 50 パーセント

ウ イに規定するもの以外の使用許可施設にあつては、使用日の 2 日前までに第 5 条第 1 項の変更許可申請書の提出があったとき 変更前と変更後の使用料の差額の 50 パーセント

(4) 条例第 15 条第 4 号に該当する場合 市長が相当であると認める率

(使用料の減免)

第 11 条 条例第 16 条に規定する使用料の減免率は、次のとおりとする。

(1) 本市が使用するとき 100 パーセント

(2) 前号に掲げるもののほか、市長が相当の理由があると認めるとき 市長が相当と認める率

2 条例第 16 条の規定により、使用料の減免を受けようとする者は、第 2 条の許可申請書とともに所定の減免申請書を市長に提出しなければならない。

(冷暖房の実施期間)

第 1 2 条 冷暖房の実施期間は、次のとおりとする。ただし、市長が必要と認めるときは、この限りでない。

(1) 冷房 6 月 1 日から 9 月 3 0 日まで

(2) 暖房 1 2 月 1 日から 3 月 3 1 日まで

(許可書の提示)

第 1 3 条 使用者は、施設等の使用に際しては、第 4 条の使用許可書を携帯し、センターの職員の要求があったときは、これを提示しなければならない。

(造作等の許可)

第 1 4 条 条例第 2 0 条ただし書の規定により、施設等に造作を加え、又は特別の設備を設置しようとする者は、あらかじめ、所定の設置許可申請書を提出しなければならない。

2 市長は、前項の申請書の提出があったときは、これを審査し、適当と認めるときは、所定の設置許可書を交付するものとする。

(使用責任者)

第 1 5 条 使用者は、使用に係る規律を保持するため、あらかじめ、使用責任者を定めておかなければならない。

(使用後の報告及び点検)

第 1 6 条 使用者は、使用後、直ちにセンターの職員に報告し、点検を受けなければならない。

(損傷滅失届)

第 1 7 条 使用者は、施設等を損傷し、又は滅失したときは、所定の損傷（滅失）届を市長に提出しなければならない。

(使用者の遵守事項)

第 1 8 条 使用者は、条例に定めるもののほか、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 入場者の秩序を維持するために必要な整理員を置き、一般入場者の整理を適切に行うこと。

(2) 定められた場所以外で飲食しないこと。

(3) 無許可で壁、柱等に張り紙をし、又は立て看板等を取り付けないこと。

(4) 無許可で壁、柱等にピンやくぎの類いを打たないこと。

(5) 条例第 1 3 条各号の規定に該当する者の入場を禁止し、又は退場を命じられた者を

退場させること。

(6) 使用開始前にセンターの職員との打合せを十分に行い、使用の際には当該職員の指示する事項を守ること。

(7) 入場者に次条各号に規定する事項を遵守させること。

(入場者の遵守事項)

第 1 9 条 入場者は、条例に定めるもののほか、次の事項を遵守しなければならない。

(1) 定められた場所以外で飲食しないこと。

(2) 使用者の指示に従うこと。

(指定管理者に管理を行わせる場合における規定の適用)

第 2 0 条 条例第 4 条の規定により市長が指定するもの（以下この条において「指定管理者」という。）にセンターの管理を行わせる場合における第 2 条から第 6 条まで及び第 1 2 条の規定の適用については、これらの規定中「市長」とあるのは、「指定管理者」とする。

(その他)

第 2 1 条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この規則は、平成 2 3 年 1 0 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 2 4 年 3 月 1 9 日規則第 1 3 号)

この規則は、平成 2 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 2 4 年 7 月 2 6 日規則第 6 9 号)

この規則は、平成 2 4 年 8 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 2 4 年 9 月 2 8 日規則第 7 6 号)

この規則は、平成 2 4 年 1 0 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 2 5 年 1 2 月 2 6 日規則第 8 7 号)

(施行期日)

1 この規則は、平成 2 6 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この規則（第 2 条を除く。）による改正後の各種使用料等に係る規定は、この規則の施行の日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、同日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

附 則（平成 3 1 年 3 月 2 2 日規則第 2 4 号抄）

（施行期日）

1 この規則は，平成 3 1 年 1 0 月 1 日から施行する。

（その他の使用料等に係る経過措置）

4 この規則（第 4 条，第 5 条及び第 1 0 条を除く。）による改正後の各種使用料等に係る規定は，施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し，施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については，なお従前の例による。

別表第 1（第 8 条関係）

児島交流センター附属設備

区分	器具名	単位	1 回の金額（円）	備考
ジーンズホール舞台設備	音響反射板	一式	3 , 0 8 0	
	平台	1 枚	1 6 8	
	金びょうぶ	1 双	7 7 5	6 曲
	毛せん	1 枚	3 3 5	
	山台用ふとん	1 枚	1 6 8	
	上敷	1 枚	1 6 8	
	しゃ幕	1 枚	6 6 0	
	演台	一式	5 5 5	花台付き
	司会者台	1 台	3 3 5	
	めくり台	1 台	1 1 5	
	指揮台	一式	2 2 0	譜面台付き
	譜面台	1 台	4 2	
	舞台用いす	1 脚	4 2	
	舞台用机	1 脚	1 6 8	
	ピアノ（ヤマハ S 6 B）	1 台	2 , 2 0 0	
	ピアノ（ヤマハ C 7）	1 台	1 , 1 0 0	
ジーンズホール照明	ボーダーライト	1 列	8 8 0	1 5 0 ワット 7 2 灯
	サスペンションライト	1 列	1 , 0 5 8	

	アップーホリゾントライト	1 列	7 1 2	1 5 0 ワット 7 2 灯
	ロアーホリゾントライト	1 列	7 1 2	1 5 0 ワット 7 2 灯
	フロントスポットライト	1 列	1 6 8	1 キロワット 2 台
	フロントスポットライト	1 列	1 3 6	7 5 0 ワット 2 台
	シーリングスポットライト	1 列	2 , 2 0 0	1 キロワット 1 8 台
	反響板ライト	1 式	2 , 2 0 0	9 6 ワット LED 2 4 灯
	移動用スポットライト	1 台	2 8 3	1 キロワット
	移動用スポットライト	1 台	2 2 0	7 5 0 ワット
	移動用スポットライト	1 台	1 5 7	5 0 0 ワット
	ピンスポットライト	1 台	1 , 1 0 0	1 キロワット クセノン
	電球ピンスポットライト	1 台	1 , 1 0 0	1 キロワット ハロゲン
	各種効果用器具	1 台	7 7 5	
	カラーフィルター	1 枚	4 4 0	1 行事を 1 回とする。
ジーンズホール音響	拡声装置	一式	2 , 7 5 5	
	移動用サブミキサー (1 6 チャンネル)	1 台	2 , 2 0 0	
	ダイナミックマイクロフォン	1 本	5 5 5	
	ワイヤレスマイクロフォン	1 チャンネル	1 , 6 5 5	
	コンデンサーマイクロフォン	1 本	8 8 0	
	三点つりマイクロフォン装置	1 台	8 8 0	
	録音再生器具	一式	1 , 1 0 0	
	ステージスピーカー (A)	一対	2 , 2 0 0	フロント用
	ステージスピーカー (B)	一対	1 , 1 0 0	跳ね返り用
ジーンズホール映写	録画再生器具	一式	1 , 9 8 0	プロジェクターを含む。
	スクリーン	1 枚	6 6 0	
視聴覚室	拡声装置 , 録音再生器具	一式	1 , 1 0 0	マイク付き

会議室等	ピアノ	1 台	3 3 5	
	卓球台	1 台	1 1 5	
	拡声装置，録音再生器具	一式	1 , 1 0 0	マイク付き
	ポータブルアンプ	1 台	6 6 0	マイク付き
	プロジェクター	1 台	9 9 5	
	スクリーン	1 枚	3 3 5	

備考

- この表において「1回の金額」の1回とは，午前（9時から12時まで），午後（13時から17時まで）又は夜間（18時から22時まで）における1回の使用をいう。
- ピアノの調律料は，使用者の負担とする。
- 器具を所定の場所以外で使用した場合の器具使用料は，この表における当該使用料と同額とする。
- 電気器具を持ち込む場合は，使用料に消費電力1キロワット当たり1回115円を加算する。ただし，持込電気器具の合計消費電力が1キロワット未満の場合は，加算しない。
- 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第2（第8条関係）

玉島交流センター附属設備

1 ホール・会議室等の器具の使用

区分	器具名	単位	1回の金額（円）	備考
ホール舞台 設備	音響反射板	一式	3 , 0 8 0	
	平台	1 枚	1 6 8	
	金びょうぶ	1 双	7 7 5	6 曲
	毛せん	1 枚	3 3 5	
	山台用ふとん	1 枚	1 6 8	
	上敷	1 枚	1 6 8	
	演台	一式	5 5 5	花台付き
	司会者台	1 台	3 3 5	

	めくり台	1 台	1 1 5	
	指揮台	一式	2 2 0	譜面台付き
	譜面台	1 台	4 2	
	舞台用いす	1 脚	4 2	
	舞台用机	1 脚	1 6 8	
	ピアノ（ヤマハS 6 B又はCS）	1 台	2 , 2 0 0	
ホール照明	ボーダーライト	1 列	8 8 0	1 3 0ワット 8 4 灯
	サスペンションライト	1 列	1 , 0 5 8	
	アッパーホリゾンライト	1 列	7 1 2	1 3 0ワット 8 4 灯
	ロアーホリゾンライト	1 列	7 1 2	1 3 0ワット 8 4 灯
	フロントスポットライト	1 列	1 6 8	1 キロワット 2 台
	フロントスポットライト	1 列	1 3 6	7 5 0ワット 2 台
	シーリングスポットライト	1 列	2 , 2 0 0	1 キロワット 1 8 台
	反響板ライト	1 式	2 , 2 0 0	9 6 ワット LED 2 6 灯
	移動用スポットライト	1 台	2 8 3	1 キロワット
	移動用スポットライト	1 台	2 2 0	7 5 0ワット
	移動用スポットライト	1 台	1 5 7	5 0 0ワット
	電球ピンスポットライト	1 台	6 6 0	4 0 0ワット メタルハ ライド
	各種効果用器具	1 台	7 7 5	
	カラーフィルター	1 枚	4 4 0	1 行事を 1 回とする。
ホール音響	拡声装置	一式	2 , 7 5 5	
	移動用サブミキサー（1 6 チ ャンネル）	1 台	2 , 2 0 0	
	ダイナミックマイクロフォン	1 本	5 5 5	
	ワイヤレスマイクロフォン	1 チ ャ ン ネル	1 , 6 5 5	

	三点つりマイクロフォン装置	1 台	8 8 0	
	録音再生器具	一式	1 , 1 0 0	
	ステージスピーカー（Ａ）	一對	2 , 2 0 0	フロント用
	ステージスピーカー（Ｂ）	一對	1 , 1 0 0	跳ね返り用
ホール映写	録画再生器具	一式	1 , 9 8 0	プロジェクターを含む。
	スクリーン	1 枚	6 6 0	
会議室等	ピアノ	1 台	3 3 5	
	拡声装置，録音再生器具	一式	1 , 1 0 0	マイク付き
	ポータブルアンプ	1 台	6 6 0	マイク付き
	プロジェクター	1 台	9 9 5	
	スクリーン	1 枚	3 3 5	
	可動展示ケース	1 台	7 3	

備考 別表第 1 備考の規定は，この表の使用料について準用する。

2 体育室の器具の使用（１回につき）

種別	器具名	単位	金額（円）
バレーボール	ポール及びネット	一式	2 2 0
バスケットボール	折畳み式ゴール	一式	2 2 0
バドミントン	ポール及びネット	一式 1 面につき	1 1 5
インディアカ	ポール及びネット	一式 1 面につき	1 1 5
ソフトバレー	ポール及びネット	一式 1 面につき	1 1 5
バウンドテニス	マット及びネット	一式 1 面につき	1 1 5
卓球	台及びネット	一式 1 面につき	1 1 5

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

3 体育室の照明施設の使用

種別	単位	金額（円）
フロアを全面使用する場合	1 時間につき	7 9 6
バレーボール	1 面 1 時間につき	6 3 9
バスケットボール	1 面 1 時間につき	6 3 9

バドミントン	1 面 1 時間につき	2 2 0
インディアカ	1 面 1 時間につき	2 2 0
ソフトバレー	1 面 1 時間につき	2 2 0
バウンドテニス	1 面 1 時間につき	1 6 8
卓球	1 面 1 時間につき	6 3

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

4 屋外体育施設の照明施設の使用

種別	単位	金額（円）
テニスコート	1 面 1 時間につき	4 4 0

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。